噴火山上の民政黨（一）

民政黨の綱紀紊亂（上）

森田代議士

本稿は民政黨を脫黨した森田代議士が今回公にせる民政黨の內容である。

民政黨の綱紀紊亂と云ふよりも、憲政會の綱紀紊亂と云ふ方が當つて居る、それは現に綱紀ゝ紊してゐる疑ある者の全部が憲政會側人々であつて、舊政友本黨系の代議士中から未だ一人も繩付が出て居ないからである。此點に於て會て政友會の綱紀紊亂を攻擊した憲政會も、利權や醜運動に關しては御多分に漏れぬ政黨であつて、政友會に對して質は劣らぬ立場になつた。若し夫れ多年の政治生活より來る多年の政治生活より際して、東京市內を橫行濶歩する有樣を見て滑稽に感じ、且片腹痛く思つた。而がら甚だ幼稚にして最も愚何故か挨拶もせぬ、くるり と背を向けて俯いてゐる

勘違をされて音は片腹痛つ眞似をして

「その言草は最う閉飽きたから待たれやしない、待つ醉にはいかないつて先樣が彼仰ぢやアない、最う一月待つて貰へる位なら私ア怨して五月蠅く來やアしな

「ぢやアどうされア可いんと音は聞かぬ先からどきりだ」音は癪だといふ風で煙

「返したら可いだらう」と怒るやうに言よ

「それやア當然さ、返したら文句はないぢやアないか正しく細事の爲に方針のま返して呉れる？」

お虎はきつとなつて猫背ア」

と音は急に勢がくじけた

「お虎さん何とか出來めねか、た前の計ひでよ私の顏が立つやうに——に賴みだコウ、此處ンとこ一月だけどうかして待たして呉んなヨウた願ひだから」

「さあそれだからおんどりと話をおしとそういふぢやアないか、お前さんの樣に一酷ぢやアロもきけやしないよ、ピンピン蹴つてばかりゐるんだもの、まるで癖の惡い馬のやうだ」

と轡をはめてから猫撫聲になつて

「ぢやア頭、過日の相談に乘つてた呉れな」

といふと、音は喫驚した樣に

「え、お君の……あの件かと眼をみはる。

慕末秘帖 狂怒亂心

(40)、渡邊 默禪作
宮野 歌春畫

管の吸口をがりがりと咬んだが其下からベツ〳〵脂を吐く

「あツ汚い」とた虎は袖で唾を拂つて

「どうすればつて、返せないものなら仕方がないぢやないか、先方の勝手にして貰ふばかりさ」

「勝手ツて先方はどうするだいツ、忌々しいたア眞

「那麼に怒つたつて仕樣がないよ借りたものなら返すが人間の道ぢやアないか返さなかつた日にやお前さんの顏にかゝはるよ、かゝいたら可いんだよ、頭、姿のんでア察してお呉はつても可いといふんなら、ナニどうもするもんかね、齊方不呀鹿で五人組の刺を据ゑてる御奉行樣へ願つて出ばかりなの面倒ならそうして貰はうぢやな

「むゝ、むゝ、と應へたがそれがいかにも形式的であつた

「妾もね、懇意な仲で例も「こんないやな話を持て來たのアないんだがね、晩ばかりは困つちまつんだよ先方はゑ然火でもいた樣に、さア如何するそうかと云つて頭の方の話を聞いて見れやア又いか「道理で、そんな因効ことばかりは言へすさ、妾ア仲へ這入つて數箇にどうしたら可いか振切りがつきアしないんだよ、頭、姿のんの顏にかゝはるよ、かゝ所によつて活動すべし▲三苦▲碧、發展の氣を押へ口を愼よ、漸く火蓋を切つたばかしめば何事にもよき日▲四りの刺を据ゑてる御奉行樣へ願つて出ばかりなの面倒ならそうして貰はうぢやな

「返したら可いだらう」と怒るやうに言よ

「それやア當然さ、返したら文句はないぢやアないか正しく細事の爲に方針のま返して呉れる？」

お虎はきつとなつて猫背ア」

と音は急に勢がくじけた

「お虎さん何とか出來めねか、た前の計ひでよ私の顏が立つやうに——に賴みだコウ、此處ンとこ一月だけどうかして待たして呉んなヨウた願ひだから」

「さあそれだからおんどりと話をおしとそういふぢやアないか、お前さんの樣に一酷ぢやアロもきけやしないよ、ピンピン蹴つてばかりゐるんだもの、まるで癖の惡い馬のやうだ」

と轡をはめてから猫撫聲になつて

「ぢやア頭、過日の相談に乘つてた呉れな」

といふと、音は喫驚した樣に

「え、お君の……あの件かと眼をみはる。

家貸

平家水道付
（家賃月五十圓）

通風採光良好・理想的住宅あり

△磐城訓盲院の隣り
新川通り

御希望の方は平町二丁目か町じか

吉田屋呉服店
電話一二一番

平町田町

赤心堂病院
電話四七五番

三益玉炭のお奬め

三井物産會社ガ多年ノ研究ノ結果專賣特許ヲ得タ最モ文化的ノ木炭代用ノ高級燃料デス

□無煙無臭デ、火付ガ早ク火持チ良ク、火力ガ強ク日常ノニヤきニハコンナ便利ナ品ハアリマセン

□ソレデ値段ハ大變お安クナリマス

値段　壹個　金貳百圓也
　　壹箱　金貳拾圓也
約束　三分ノ一デ充分間ニ合ヒマス
　　八貫入
御注文ハ本日限リ
第一回ノ御見本ニ限リ
次回ヨリ値上ケ致シマス
御參考ニ申シ越テラシカ
御供給ハ下記ノ通リ

□ドンナニ喰ハすきらいノ人でも一度使ヘバ必ズ御氣ニ召スノガ此ノ玉炭ノ特長デス

平驛前
阿部石炭商店
電話二三七番

耳鼻咽喉科專門

大和田醫院
平町南町（電一七〇番）

入院隨時（自炊の便あり）

◆御期待の名編遂大公開◆

大空中戰 血涙悲壯 さぼてん

賜御天臺覽榮　各國皇帝元首各宮殿下

パラマウント社
本年度超特作映畫
主演、クララボー孃
チヤールス、ロヂヤース氏

陸軍省
海軍省　推賞
文部省

激讚

全編悉く熱と力もて貫れ血と涙もて彩られゝ一大文字、是を見ずして何人か遂に映畫を語るを許されん……
一死國難に殉ずる熱血男兒、戀をいけにえに奮鬪する美少女、戰禍を地上より拂わんとする偉大……
精神脈々たる大傑作……巨史

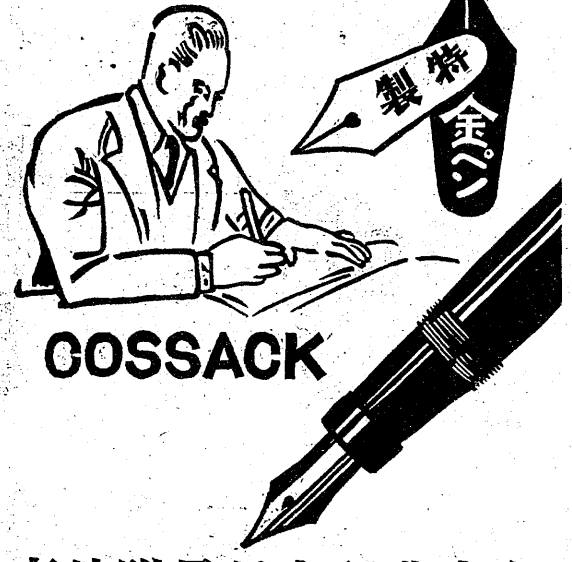
報知新聞連載　吉川英治原作
第三回 江戶三國誌

◇全國協定打破◇
入場料特に普通

土日曜學生デー

十三日より　高級常設　平館
電四六六

特製金ペン



醸造元
福島縣平町
山崎合名會社
電話一（營業部）一〇番
（醸造工場）二七番
振替東京一九七五五番

上野車坂町四三
東京支店
電話（下谷五七一二番）
振替東京六八三一二番

御大典記念品景念記特附賣

コサツク萬年筆記念名入

壹號　特價　金貳圓也
貳號　特價　金貳圓四十錢也
參號　特價　金貳圓八十錢也

其他各種

磐城平町
高倉天地堂

三百本一組景品ノ內容

壹等	十八金厚側西瑞製拾石入アンクル十形腕巻時計	三個	
貳等	クローム側拾形西瑞製十石入アンクル腕時計	五個	
參等	最新式置時計	拾五個	
四等	舶來二ツ折レシース	三十五個	
五等	弊店名入手拭	殘全部	

本特賣抽籤ニ八全部空籤ナシ

特賣期間　自昭和三年九月一日　滿二ケ月間　昭和三年拾月卅一日

抽籤場所　公會堂

抽籤方法　任平新聞記者立會嚴正施行ス

抽籤發表　御即位式當日當籤者各位ニ通知ス

景品引換　抽籤發表一ケ月以內ニス

平町五丁目（釜屋商店前）
鐵道省御用
金光堂時計店
電話七三六番

優秀なる最新型腕巻時計

◆クローム側　白金代用側

十型　十石入　アンクル　七圓五十錢
十型十五石入上アンクル　拾壹圓
九型　十石入上アンクル　九圓五十錢
九型十五石入上アンクル　拾三圓
八型十五石入上アンクル　拾貳圓
八形十五石極上アンクル　拾五圓

◆十八金側（金質保証）

十型　十石入上アンクル　拾貳圓五十錢
十型十五石入上アンクル　拾八圓五十錢
九型十五石入上アンクル　拾五圓
八型十五石入上アンクル　拾七圓

平町田町

高久病院

電話五二三番

醫學士　高久忠
新潟醫學士　赤羽清
藥劑士　佐竹菊雄

內科小兒科、
外科花柳病科、
耳鼻咽喉科、
レントゲン科、

鐵道貨物運賃の改正で 死活の岐路に立つ常磐炭礦

一難去つて復た一難來る 結束して運動を開始

常磐地方各炭礦では局面打開の改正によつて至大な利益を得ることゝなつたが常磐縣工學士が常磐炭礦現在に於ける得意先に活況を呈し來る一日よりの一噸五十錢の値上げを可能ならしめ漸く當業者をして愁眉を開かしめたこと既報したが一難去つて亦た一難茲に復た難問題が

惹き起つ

たゝ、即ち十月一日より實施されることゝなつた鐵道貨物の運賃等級改正によれば石炭は第十級（改正前は五級）に置かれその結果として五十哩未滿輸送は安く取扱はれることゝなつたが五十哩以上の石炭輸送は寧ろ改正前より運賃の高騰を示したことは常磐炭礦にとつて死活の岐れる大問題である、即ち九州北海道の各炭礦は何れも鐵路五十哩未滿にして商品化し海上輸送の便ある爲め之

喧嘩腰に出づとも 漁港修築は容易

年五萬圓程度の金で

漁民の希望通る

石城、双葉、相馬沿岸の漁港修築陳情については本紙屢報の如くである、最も巷間に各濱とも是非明年度に於て實現せしめたいと意氣込み假通りはあげてこの渦中に卷込まれ猛烈な競爭の形にあると宣傳するむきがあるが是は全然根據なきものにして双葉郡於

平の米相場

米穀商の協定

平町米穀商組合ではこのほど左の値段の協定をした

（上白日米一升）三十八錢
（中白米）三十七錢（並白米）三十六錢（田糯白）四十錢
十三錢（陸糯白）四十錢
（格麥）二十二錢

女子供の勞役を 一時間の繰下げ

作業に重大な關係あり 工場主から希望

石城郡地方各炭礦並に諸工場に係る重大なる社會問題として各方面から批判されて居た工場勞働者扶助規則も本月一日から實施され問題の工場婦人及び幼年工の就業時間も朝の五時から午後十一時までの外は就業させる事ゝ出來ないことになつたが猶豫期間滿了の明年七月一日からは

全然夜間　午後十一時から午前五時までは作業に從爲させる事は出來ずさりとて各工場としては此の婦人の代り男工を使用すると

損害で希望

朝五時は婦人勞働者少し早くて困る狀態だから一時間繰下げ午前六時午後十二時迄にして欲しいと云ふ回答に接したので同課では本省に其旨を報告す

未設置の町村に 組合組織奨勵

御大典記念事業に 郡當局の方針

石城郡地方における現在產業組合の事業分量は江名信用販賣購買利用組合外二十五組合出資總額は約百萬圓に達し地方產業の發展と共に年々增加ぼう張の傾向にあるが郡下三十四ヶ町村中

未設町村

は錦、山田、飯野、夏井、赤井、入遠野、永戸組合村、川前、川部の大字現在設立計劃中のものは錦、川前、入遠野の三ヶ村だが今秋行はれる御大典の記念事業として進上郡内を產業組合化しなほ具體的記念事業としては他に炭礦一先鞭十三ヶ年なる至五ヶ年拂戻しの定額貯金を奬勵實行せしめ生產事業に投ぜしむる方法として當局者間に計劃さ

貴金屬犯人

東京市で捕はる

石城郡四倉町字中町貴金屬時計店神谷源吾方に去月中賊忍び入り貴金屬類三百餘圓を窃取逃走した犯人あり所轄四倉署では各署に手配し犯人嚴探中のところ十一日東京市相生署で右犯人を逮捕した同人は栃木縣芳賀郡清原町生れ前科五犯黒鍬義房（三三）と石城郡地方を荒し廻つた後東京市に入り込み盜みを働いたものである

中ノ作の 漁港修築

鈴木縣議出福

石城郡江名町字中の作有志は豫てより中の作漁港修築を計畫し縣に對し補助申請をなし且之が實現につき郡下各町村より應分の寄附を乞ふ方針なるが十一日午前十時より元郡衙に於て稻田分場長神尾、大山其他關係者は會合の上右の件に就き打合せをなした

途中より一筆

天氣晴朗を慶び彦根を發つ、では迎ふる琵琶の八科益、景は窓より入りて窓を出でかくて京都へ着く、京は詩の鄕夢の里、物語の名所古跡を盜んばかり抱擁して東山三十六峰靜かに眠り加茂川の水は和やかな呼吸を聞く祇園の弦歌は夢はいつまでも樂しかねと守るに似たり

京都にて　遠藤俊一郎

磐城新聞社御中

免れない 一割の減

石城の稻作

石城郡地方水田の稻熱病はすでに各組合でも具體的方法につき研究協議中である

祭場殿を設けて 葬儀の虚禮廢止

御大典記念事業に 古河炭礦の計劃

石城郡好間村古河炭礦々業處虚禮廢止の實を擧げることゝなつた

軌條取換

平保線區の

今月中に終る

平保線區では區內高萩、草野間三十マイルに亘り現在の六十ポンド軌條を七十五ポンド軌條に取換るべく本年六月初旬取換作業に着手して以來完成を急ぎつゝあつたが同作業をもよう〳〵本月下旬を以て完成することになつた

他炭礦に先鞭し 健康診斷を開始

けふから三千從業員に 入山採炭會社で

湯本町入山採炭會社では常に從業員の衛生と健康に重きをなし一注意を怠らず隨つて疾病率の如き他炭礦に比較して遙かに優良なる成績を示してゐるが全國鑛山協會の決議に基き九月一日より明春三月末日までに執行することゝなつた從業員の一割減收は免れないと郡

郡下少年庭球 來る廿三日開催

第七回

本社主催、平庭球倶樂部後援第七回郡下少年庭球大會は愈々來る廿三日（日曜）午前九時より元平商業學校コートに於て開催する事になりました振つて御參加を乞ふ

申込書は各小學校宛に途附致しました、參加と否とに不拘返信を持ちます

記

一日時　九月二十三日（日曜）午前九時開始
（但し雨天の際は九月二十五日）

一場所　舊平商業學校々庭（平町役場前）

一參加資格　小學校兒童にして尋常高等に拘はらず一校二組とす

一試合方法　イ、ゲームを五回とす
ロ、コート及ボールは普通軟球規則に依るハ、組合せはリーグ戰

一優勝旗　優勝旗は連續三回優勝せし學校に對し之れを授與す

一優勝旗保持校　好間小學校

一申込期日　申込書記入の上九月十九日迄に主催者宛に申込まれたし

◇辨當は各自持參の事

昭和參年九月十三日

主催　磐城新聞社
後援　平庭球倶樂部
會長　唐土齊治
顧問　木村寅三
同　吉田利吉

舊名偉人傳（終）

忠勇無双の日露の勇士 菅波政治の事

△菅波政治

海軍一等信號兵曹菅波政治氏は大野村菅波長右工門の二男なり、明治廿八年横須賀海兵團に入り、航海の技術大いに練達す、武藏艦に乘り既にして水雷術を學ぶや轉じて朝日艦に乘す、當に日露の役起るや東郷の令上に及び聯合艦隊に屬し旅順口閉塞の擧あり、爲めに死士を募る、氏は進んで之れに應ざるなき衣帶を解かず、而して歸隊の期遲れんことを恐れ、憂色面に

石城

雨注然れども少しも屈せず勇を起して前進し遂ひ重創を被る、勇敢なる氏は泰然自若萬歲を高呼して斃れ享年三十八、戰功により叙功七級金鴻勳を章賜ひ叙勳七等青色桐葉章を授けらる、海軍大臣亦金數百圓をその遺族に贈り氏の勳功を表彰せり

△大越長次郎

西郷村大字白水の人にして父を重三郎といひ母をシグといふ、君嘉永五年十月二日該地に生れ幼名を豊松と稱せり、氏の生れし時父は十九歲にて母は十七歲なり能く他人の世話するを受けたる程なれば十月廿三日より長次郎及び長吉氏病に罹りて臥し居たりしが、長吉は腸チブスに罹り八月廿九日遂に死去す、長吉氏は明治十年四月八日の出生にて父に劣らぬ温厚

（終り）

平税務署長

郎を名となすために氏が家興へ、物言ひ口爭ひ杯の仲母に學つて至孝なりき、又た時勢に後れざらん爲めと必要に感じ卒先して白水青年同志會を興して自ら幹事となり、或は夜學に或は撃劍會に紋々青年の士氣を發揮せしむることと、風紀の矯正に勉めたり、故に青年者には診らじき人柄なりとて世人より賞讃せられたりしが二十二歲を一期とし此の世を去る、戒名を蓮光院信士と稱す

工費は卅四五萬圓 城山上水道の擴張

着工は來春三月ごろ 準備を急ぐ平町

町水道部顧問茂庭博士及び明日中顧問茂庭博士の來平を待ち詳細調査の上本月下旬を以て完成することゝなつた從業員の出生にて父に劣らぬ温厚

町上水道の擴張計畫は同起債に依ちより途がなくなつたので目下豫算の編成中で約三十四五萬圓を要し昭和四五兩年の繼續事業として着工される見込である之が財源は現在の水道部剩餘金一ケ年五萬圓を除く殘部三十萬圓は

公告

石城郡錦村大字江栗字花ノ井一一八
當時　東京府下荏原郡大崎町五反田
滯納者　星
一、物件
石城郡錦村大字江栗字花ノ井六三
田反別　壹反九畝八歩
外田、畑、宅地、山林
原野計三十三筆
右國稅滯納ニ付前記財產昭和三年九月廿二日午前十時ヨリ稅務署ニ於テ入札ヲ以テ公賣ニ付ス買受希望ノ者ハ當署ニ就テ詳細ヲ合ノ上入札ヲ爲スベシ
昭和三年九月十二日

平稅務署長

磐城新聞社

高久病院長夫人の姉君佐川藻子女史に關する東京だより

一つ日露戰爭で双方立ったまゝはじめて遼陽激戰に戰死した佐川直諒中尉悲報をもたらしてその留守宅を訪ねて行つた歩兵二聯隊の小野八千雄中尉、夫人と對談してその中

互に顏を見合せて見た夢のやうな人だといふ思ひ入れ、おれかこれかと考へた末、戰死當時の使者を思ひ出して涙をぼろ〳〵

× × ×

若くして未亡人となつた佐川女史は既に諸方から其才色を唄はれて富豪やら華族からまで求婚があつたものを總べて顧つて今日まで獨身で通したけなげさが今日の名譽、價値づけたで有ろう

× × ×

それから年を經ること、茲に廿五、小野中尉も後備となつて目下は皇太后宮職、勤

× × ×

し、いやしくも疾病者に對し、そこへ挨拶に廻つて來たのは驚たり秩父宮家侍女しては健康保健組合に送り救濟の實を擧げることゝなつた佐川藻子女子（四ツ）

× × ×